

有線放送の開設に思う

私共農民に直結する放送が有線放送であります。勿論、朝から晩まで農事のみが放送ではなく、各部落にの放送では、各部落に編成委員が放送プログラムを編成して、本村に最適なプログラムを編成して放送するのです。

現在村から区長に、区長から実行組合長に、実行組合長からお互に伝えられていた村行政も、今後には村から直接村民の皆さんに伝えられる事になりますし、組合と組合員、団体と団員、会と会員のつながりも、放送を通じて緊密度をまし、その運営もスムーズに行かなくてはなりません。また、村に起つた数々の出来事、色々の行事も、居ながらにして知る事が出来ます。然し、何と申しまして、農事の放送が、この放送の生命でありますから、農業経営の全般について、本村の地域性に立った適切な放送が行われることは、申すまでもないところであります。今や有線放送は、農家に欠くことのない出来な施設であります。

この施設を高度に利用することによって、吾々農民の生産の向上は計られ、ひいては生活を豊かにし、本村振興に、大きな役割を果たすことを確信いたしてまいります。

全戸加入を、切望してやみません。



山陰派出所便り

よい子を水の
ぎせいから守る
う!!

六月の声をきくと、子供たちは、待ちかねたように水遊びを始めます。魚つり、ボートのり、いかだのり、そして水泳と、人気があふれる遊びが多くなります。あなたかくなるにつれて川も海も、急に、にぎやかになり、水遊びによるぎせいの暑さとともに、ふえてくる

が毎年の例です。どこまでも用心してかゝるべきで、あなどるといひ目にあいます。昨年六月から九月までに、県下の水死者は六〇名に達しております。そのうち五八名(九七%)は中学生以下です。事故を起した場所を調べてみると、川が一番多く、次に用水路、海岸の順となつており、おぼれた原因では、危険な水域の深みにはいりこんで、おぼれたというものが最も多いようです。こう

してたくさんのよい子たちが、水のぎせいになつていくわけですが、多くの場合、おとながもつと行き届いた注意をしてやれば、防げたと思われ、事故ばかりであることは、いかにも残念であります。警察でも、この面には十分注意しますが、なにごとも警察官に限りありませんので、この際、皆さんの御協力をお願いいたします。

一、事故の起きかたの場合
心をおちつけて、あわてないことです。仲間だけでなく、大勢の人に助けを求めて下さい。

二、水泳後の注意
水に入る前は、必ず準備運動をしましょう。いきなり飛びこむと、心臓マヒやショックを起して危険です。

三、水泳後は、必ず耳の水を出してよくふいておきましょう。中耳炎をわずらう人がたくさんいます。

四、水泳後は、必ず目薬をさしましょう。特にプールの場合、目をわずらう人がたくさんいます。

五、水泳後は、必ず耳の水を出してよくふいておきましょう。中耳炎をわずらう人がたくさんいます。



十分な用意で 田を植えましょう

用意ノドン。
此の場合で、いつせいに飛び出し、お互に有りつたけの力で走る。途中で追いつけぬもの、追いつかれるもの、皆んなが走る能力の全部を出して走り、そしてテーパーを切る。

昨年県下の六月から九月までの溺死者は六〇名で、同様の交通事故の犠牲者六名に比較すると、十倍の多数に上つております。

田植えについても、此の事は、忘れる事の出来ない事です。

●苗の用意は出来ていますか。
イモチの種を本田に持ち込んだら、噴霧器一つですむ管の予防が、大変多い努力で駆除しようとして、完全に被害を無くする事は出来ません。即ち、病気が予防する事は出来ないのです。ですから、イモチの飛んで来る前に、イモチの菌を殺す準備、即ち薬剤散布をして、イモチを防ぐ用意が大切です。

●害虫は居ませんか。春の一匹は、秋の万匹とも言われます。

肥料切れしたり、ゴマ糞枯が出た苗は、種まきの時の用意(肥料の施し方等)が不十分だったからだと云えます。

●肥料の用意はどうでしょう。
田植えの日に、肥料買いに右足の関節を十一針も縫うような大怪我をしました。人の話で、日頃あまり評判のよくない診療所に、半信半疑で連れて行つてもらいました。私は、診療所の医療設備の完備していること、先生の技術のすぐれていて、今までの目で見ても、今まで食わず嫌いであつたことを、心からすまなく思いました。

お蔭で、私の傷はぐんぐん回復して、二週間たらずで全快することが出来た。今までも二、三回怪我をして、他の病院に入院治療したこともあり、今更には、直ちに男の責任が、今回のように早く全快する

したの初めてです。これも完備した医療施設と、先生の卓越せる技術によるものと感謝いたしています。

(福瀬、直野)

左手運動
三日の毎日新聞社説に「日本人は酒飲みを甘やかして、酒飲みの甘やかさし過ぎる」と云う意味合で種々酒飲みに痛みの実例が挙げられておりました。私はこの意見に、雙てている事は、まことに以つてけしからん次第である。男性は家族扶養の重責を荷する婦人層を有頂天にした事と考へ苦笑を禁じ得ない苦痛は、女中の知る所です。そで私は、世の酒飲みに引受けて、身も心も、そくたく／＼に疲れ果てて貧乏くた／＼に我が家に帰れぬ家どころではなくなり、果ては商売女の歯の浮くようなお世辞迄も、涙にむせび泣く仕

(節酒生)



行くのも良い事ではありませぬ。併し、此の様な事があつたにしろ、これを見て笑つて居られるでしよ。か。また、これより、ゆつくりした人がいます。

「基肥が足らんかつたもんじやから」等と言つて、七月の末頃に追肥をして、八、九、十、と、この間、農業者であつたら、本職の農業者であつたら、大笑いの種になる筈です。チツともリンサンも、カリも充分準備して置いて、最も大切だと思われ、最も必要と思われ、最も追肥する事が大切であると思われ、だから、その用意の為にこそ、水稲の施肥処方箋というものが、一戸、一戸、配つてある訳です。

●田植えの用意がして無くて、思う通りの植え方が出来なかつたり

●田の用意が不十分の為に

六月の「こよみ」から
二日「旧暦の端午の節供。古くは一月七日(人日)三月三日(上巳)、五月五日(端午)、七月七日(七夕)、九月九日(長陽)を五節供といつて盛んな行事が行われたが、現在では上巳(桃の節供)と端午(菖蒲の節供)の外は、形のみが残つてゐる。

菖蒲湯に菖蒲かぶりし子供かな(手紙)

四日「ムシ菌デー」である。お互に菌を大切にしよう。お互に菌を大切にしよう。お互に菌を大切にしよう。お互に菌を大切にしよう。

村民の声
このみに負わせる片手落しな場合は勢どころか、夫は外の憤まんを心行くまで吐き出したのである。吐き出したのである。吐き出したのである。吐き出したのである。

夏の健康を守る
伝染病予防の注意書
つけましよう。

- ① 食前と外出から帰つた時は必ず手を洗ひましよう。
- ② 生ものに注意し、食べすぎ、飲みすぎをやめましよう。
- ③ 病気のうたがいがあつた時は早く医者に見せましよう。
- ④ 体温計は是非とも一家に一本は備えましよう。

後記
深緑の中に栗の花が咲いてゐる。早稲の穂はぐんぐん伸びて、濃緑の色を増してゐる。五月雨をきいて、五月雨をきいて、五月雨をきいて、五月雨をきいて。

農繁期に 保存食を作りましよう
「生活改善」といふ言葉は、よく聞きます。この生活の改善は、どんなものか御存じですか。はつきり認識されておられる人は、少いのではないでしよか。

こゝで生活改善の一つ一つについて考えてみます。田植の時期です。体をうんと使いますので、食物で体の調節をしましよう。

油や魚、肉が不足しますので、野菜やその他のもの、油を使つて調理しましよう。

忙しい時で、作る時間が少いから、十日か十五日保存出来るものを作ることです。そこで、保存食を作つてしましよう。

▼大豆の保存食

材料 大豆一合、人参二本、煮干粉少量
油、醤油、塩、砂糖

作り方 大豆は一昼夜水に浸し細く刻む。油で生ごまの油を炒め、大豆の刻んだものを、煮干粉を加えて、砂糖、醤油、塩で味付けする。

●赤痢、疫痢、日本脳炎に特に気をつけましよう。

●食前と外出から帰つた時は必ず手を洗ひましよう。

●生ものに注意し、食べすぎ、飲みすぎをやめましよう。

●病気のうたがいがあつた時は早く医者に見せましよう。

●体温計は是非とも一家に一本は備えましよう。

●本村に国保を施行して満四年、直営診療所を開設して、本村の健康保持の上で、病気の治療の面で、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け。

●本村に国保を施行して満四年、直営診療所を開設して、本村の健康保持の上で、病気の治療の面で、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け。

●本村に国保を施行して満四年、直営診療所を開設して、本村の健康保持の上で、病気の治療の面で、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け。

●本村に国保を施行して満四年、直営診療所を開設して、本村の健康保持の上で、病気の治療の面で、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け。

●本村に国保を施行して満四年、直営診療所を開設して、本村の健康保持の上で、病気の治療の面で、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け。

●本村に国保を施行して満四年、直営診療所を開設して、本村の健康保持の上で、病気の治療の面で、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け、どれだけ多くの恩恵を受け。